

1 平成19年度調査の全体計画(案)

1.1 調査の目的

漂流・漂着ゴミ問題については、国内起因のみならず、地域によっては外国からのゴミが大量に漂着しており、海洋環境の保全の面からの問題（たとえば良好な海浜景観の喪失、海洋生物等への影響の懸念等の問題）が指摘されている。

漂流・漂着ゴミについて、より効果的な発生源対策や清掃運搬処理を進めるためには、漂着の状況と地域の特性をふまえた取組が必要である。また、効率的な清掃方法の開発利用や関係者の参加・協力が重要である。このため、下図に示す一定範囲のモデル海岸地域について、地域全体の漂着ゴミの状況や地域特性について情報を収集し、対策のあり方を検討する。また、環境保全上の価値が高い海浜等について、効果的な清掃運搬処理の手法を検討し、漂流・漂着ゴミ対策に資することを目的とする。

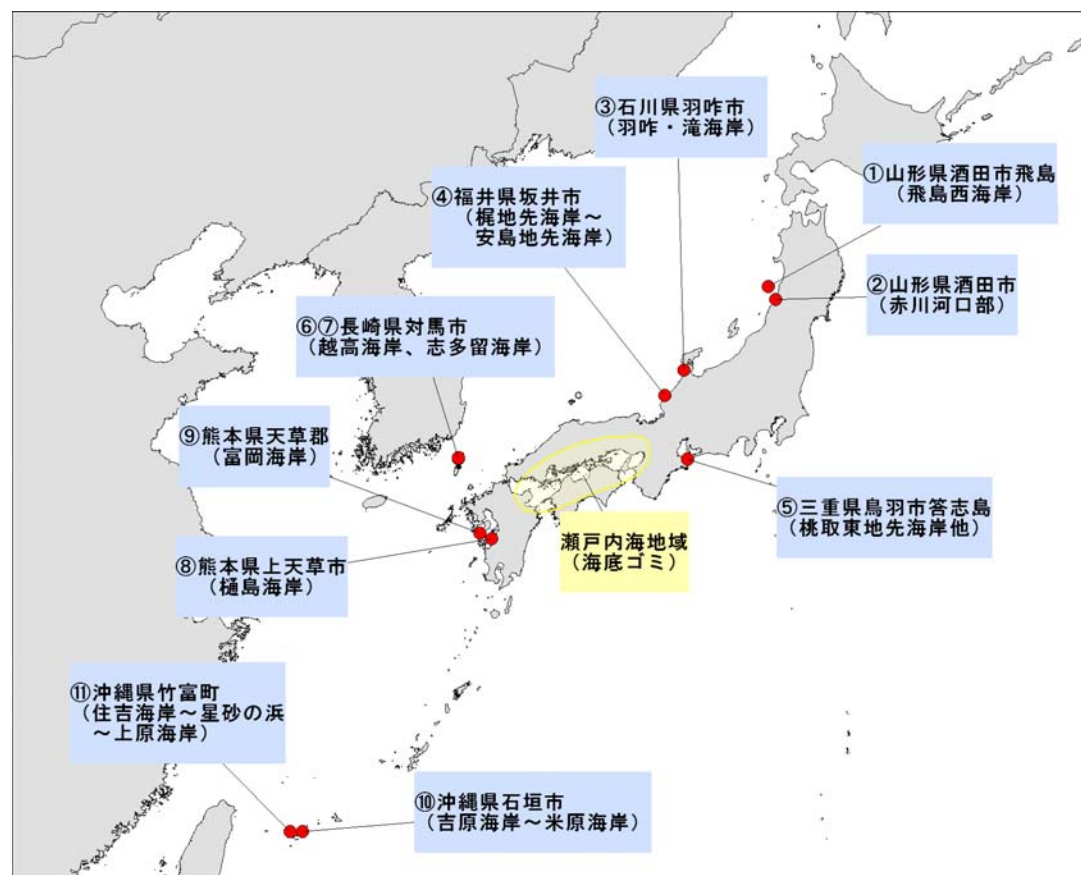


図1 モデル地域

1.2 調査内容

本調査は、以下の6項目の調査から構成されている。

- 概況調査
- クリーンアップ調査
- フォローアップ調査
- その他の調査
- 検討会の実施
- 瀬戸内海地域で実施する調査

漂流・漂着ゴミの削減方策に資するため検討すべき項目として、「現状把握」、「発生抑制」、「除去」、「漂着防止」に対する各調査項目の役割を示すと、図2のようになる。

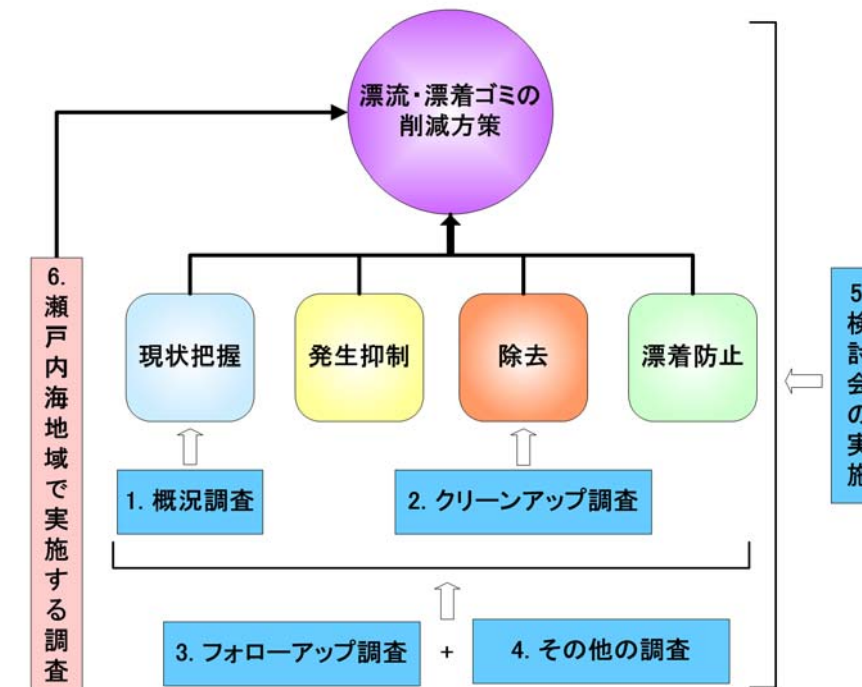


図2 漂流・漂着ゴミ削減方策に資するための各調査項目の役割

1.3 地域検討会の内容

1.3.1 地域検討会の目的

各モデル地域で実施する調査について、地域の状況や要望を踏まえて適切に実施し、調査結果等を速やかに地域にフィードバックするため、地域の担当者や地域住民等による地域検討会を組織する。議論を通じて地域関係者との連携を深め、効果的な調査の実施と継続的な漂流・漂着ゴミ削減対策の確立の基盤を形成することを目的とする。

1.3.2 調査工程

平成19年度	H19年7月	8月	9月	10月	11月	12月	H20年1月	2月	3月
概況調査									
クリーンアップ調査									
フォローアップ調査									
その他の調査									
総括検討会		第1回		第2回					第3回
地域検討会			第1回			第2回			第3回

平成20年度	H20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H21年1～3月
クリーンアップ調査										
フォローアップ調査										
その他の調査										
総括検討会			第4回		第5回				第6回	
地域検討会			第4回			第5回			第6回	